



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 長野日本無線株式会社

コード番号 6878 URL <http://www.nirc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 萩原 伸幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 総務本部長

(氏名) 藤澤 敏彦

TEL 026-285-1111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	23,089	11.0	111	—	118	—	137	—
26年3月期第3四半期	20,810	3.5	△1,681	—	△1,708	—	△1,790	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 143百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △1,815百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第3四半期	3.77	—
26年3月期第3四半期	△49.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第3四半期	21,482	4,308	18.2	107.62
26年3月期	20,800	4,018	17.3	99.02

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,918百万円 26年3月期 3,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	31,500	1.6	170	—	120	—	70	—	1.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	36,420,538 株	26年3月期	36,420,538 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	10,286 株	26年3月期	10,286 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	36,410,252 株	26年3月期3Q	36,410,481 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」および本日(平成27年2月2日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 生産および受注の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の追加金融緩和策を背景に企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、円安の進行による原材料価格の上昇や、一部に地政学的リスクも懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済状況の下、当社グループは、基本戦略である「アライアンスの拡充に基づく事業領域の拡大」、「中国工場の生産能力拡大を武器とした海外需要の取り込み」、「エレクトロニクス3社(当社・日本無線(株)・上田日本無線(株))による事業構造改革」に基づき、収益力の回復を重点課題とし、諸施策を展開しております。事業構造改革に関しましては、当社の生産効率の向上を図りながら、日本無線(株)からの技術および生産拠点の移管について確実な対応を行っております。平成26年12月には当社隣接地に同社の先端技術センターが完成しました。当社は技術部門を中心に入居し、同社とのシナジー効果など技術開発力の強化に向けた環境が整いつつあります。また、中国工場の生産品目拡大に向けて、製品品質のさらなる向上と、海外サプライチェーンの再構築をはじめとしたコスト競争力の強化に取り組んでおります。さらに、成長戦略の推進に向けて、選択と集中を図るとともに、基盤事業の拡大および新事業の創出を目指しております。

当社グループは、各施策の着実な実行により収益力回復に努めるとともに、成長路線への確実な転換を図っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、前年同期に比べ、情報・通信機器、メカトロニクス機器、電源・エネルギー機器、全てのセグメントが増加したことにより、23,089百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

損益につきましては、前年同期は事業方針の見直しに伴うたな卸資産の評価損の影響などにより大幅な損失でありましたが、当第3四半期連結累計期間は大幅に改善し、黒字に転換しました。営業利益は、売上高の増加および販売機種の絞り込みなどにより高付加価値製品の比率が増加したことなどから、111百万円(前年同期は営業損失1,681百万円)、経常利益は118百万円(前年同期は経常損失1,708百万円)、四半期純利益は、投資有価証券売却益45百万円を特別利益に計上したことなどから、137百万円(前年同期は四半期純損失1,790百万円)と、いずれも黒字化しました。

当第3四半期連結累計期間における主要な事業のセグメント別業績は、以下のとおりであります。

なお、セグメント利益またはセグメント損失は、営業利益または営業損失ベースの数値です。

(情報・通信機器)

本セグメントの売上高につきましては、日本無線(株)からの生産移管などにより、通信機器などの公共インフラ設備機器の売上が増加したことなどから、11,577百万円(前年同期比14.3%増)となりました。利益につきましては、高付加価値製品を中心に売上高が増加したことなどにより、セグメント利益270百万円(前年同期はセグメント損失561百万円)となりました。

(メカトロニクス機器)

本セグメントの売上高につきましては、業務用特殊機器および事務機用周辺機器が好調に推移したことなどから、5,800百万円(前年同期比12.8%増)となりました。利益につきましては、売上高の増加に伴い、セグメント利益56百万円(前年同期はセグメント損失475百万円)となりました。

(電源・エネルギー機器)

本セグメントの売上高につきましては、販売機種の絞り込みによりコンシューマ電源の売上は減少したものの、環境・省エネ電源およびエコカーを中心とした車載用電子部品の売上が増加したことなどから、4,497百万円(前年同期比2.0%増)となりました。利益につきましては、前年同期に比べ改善したものの、コンシューマ電源の価格競争が引き続き厳しいことや、新規開発案件に係わる費用がかさんだことなどから、セグメント損失387百万円(前年同期はセグメント損失833百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は21,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ681百万円増加しました。これは流動資産では商品及び製品が260百万円、現金及び預金が160百万円、仕掛品が131百万円、原材料及び貯蔵品が125百万円およびその他が399百万円増加し、受取手形及び売掛金が474百万円減少したこと、また固定資産が75百万円増加したことなどによるものであります。

負債総額は17,173百万円となり、前連結会計年度末に比べ391百万円増加しました。これは流動負債では電子記録債務が568百万円、短期借入金が200百万円、未払費用が114百万円、支払手形及び買掛金が83百万円およびその他が243百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が243百万円および受注損失引当金が172百万円減少したこと、また固定負債では、長期借入金が315百万円および退職給付に係る負債が118百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は4,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ289百万円増加しました。これは利益剰余金が264百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の事業動向等を踏まえ、平成26年10月27日に公表した平成27年3月期通期の連結業績予想を、上方修正しております。

詳細は、本日(平成27年2月2日)別途公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」を、ご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が127百万円減少し、利益剰余金が127百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	676,989	837,261
受取手形及び売掛金	7,411,741	6,937,382
商品及び製品	537,884	798,689
仕掛品	4,804,410	4,935,603
原材料及び貯蔵品	1,613,251	1,738,284
繰延税金資産	15,997	18,987
その他	195,528	595,456
貸倒引当金	△1,674	△1,487
流動資産合計	15,254,128	15,860,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,684,804	1,697,033
機械装置及び運搬具(純額)	445,574	429,908
土地	2,369,381	2,378,158
リース資産(純額)	191,714	205,191
建設仮勘定	9,429	58,145
その他(純額)	154,136	205,236
有形固定資産合計	4,855,041	4,973,674
無形固定資産		
投資その他の資産	251,306	213,576
投資有価証券	235,120	256,268
繰延税金資産	26,348	32,200
その他	199,946	165,845
貸倒引当金	△21,043	△19,143
投資その他の資産合計	440,372	435,171
固定資産合計	5,546,720	5,622,422
資産合計	20,800,849	21,482,600

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,862,827	3,946,694
電子記録債務	1,847,298	2,415,447
短期借入金	6,100,000	6,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,326,596	1,083,217
未払金	324,728	332,171
未払費用	258,505	372,663
未払法人税等	34,821	40,906
製品保証引当金	61,676	61,676
受注損失引当金	172,751	—
その他	454,435	698,162
流動負債合計	14,443,641	15,250,938
固定負債		
長期借入金	1,119,618	804,000
繰延税金負債	31,941	48,940
再評価に係る繰延税金負債	592,696	592,696
役員退職慰労引当金	13,565	16,808
環境対策引当金	16,964	16,964
退職給付に係る負債	277,258	158,492
資産除去債務	102,466	110,785
その他	183,793	174,292
固定負債合計	2,338,303	1,922,980
負債合計	16,781,945	17,173,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,649,580	3,649,580
利益剰余金	△1,244,001	△979,526
自己株式	△1,814	△1,814
株主資本合計	2,403,763	2,668,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,087	76,112
土地再評価差額金	929,959	929,959
為替換算調整勘定	△333	36,171
退職給付に係る調整累計額	226,703	208,126
その他の包括利益累計額合計	1,201,417	1,250,369
少数株主持分	413,722	390,073
純資産合計	4,018,904	4,308,681
負債純資産合計	20,800,849	21,482,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	20,810,521	23,089,985
売上原価	20,025,370	20,727,992
売上総利益	785,151	2,361,993
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	247,362	272,160
給料	1,205,741	1,124,908
退職給付費用	43,350	38,327
その他	970,248	814,729
販売費及び一般管理費合計	2,466,702	2,250,127
営業利益又は営業損失(△)	△1,681,551	111,866
営業外収益		
受取利息	664	1,129
受取配当金	3,267	3,965
受取賃貸料	6,285	18,095
受取設備負担金	—	31,881
貸倒引当金戻入額	3,374	1,987
為替差益	91,235	65,027
その他	42,407	27,835
営業外収益合計	147,234	149,921
営業外費用		
支払利息	96,803	76,958
売上債権売却損	48,489	37,031
その他	28,754	28,880
営業外費用合計	174,047	142,870
経常利益又は経常損失(△)	△1,708,364	118,917
特別利益		
固定資産売却益	320,905	—
投資有価証券売却益	—	45,077
持分変動利益	465	—
特別利益合計	321,371	45,077
特別損失		
減損損失	262,130	—
特別損失合計	262,130	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,649,123	163,994
法人税、住民税及び事業税	50,403	59,558
法人税等調整額	172,697	△8,829
法人税等合計	223,101	50,728
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,872,224	113,265
少数株主損失(△)	△82,029	△23,847
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,790,195	137,113

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,872,224	113,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,909	31,024
土地再評価差額金	△53,981	—
為替換算調整勘定	78,163	17,445
退職給付に係る調整額	—	△18,577
その他の包括利益合計	57,092	29,892
四半期包括利益	△1,815,132	143,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,732,923	186,065
少数株主に係る四半期包括利益	△82,209	△42,907

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	情報・通信 機器	メカトロニ クス機器	電源・エネ ルギー機器				
売上高							
外部顧客に対する売上高	10,129,782	5,144,232	4,407,199	1,129,306	20,810,521	—	20,810,521
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	2,658	—	3,421,595	3,424,253	△3,424,253	—
計	10,129,782	5,146,891	4,407,199	4,550,901	24,234,775	△3,424,253	20,810,521
セグメント利益又は損失 (△)	△561,161	△475,804	△833,581	104,784	△1,765,762	84,211	△1,681,551

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話機器の販売事業およびソフトウェア開発や製造の請負事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は下記のとおりであります。

セグメント利益

(単位:千円)

	金額
全社費用	34,444
セグメント間取引消去	109,533
その他	△59,766
合計	84,211

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電源・エネルギー機器」セグメントおよび「情報・通信機器」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、「電源・エネルギー機器」セグメント250,877千円、「情報・通信機器」セグメント11,253千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	情報・通信 機器	メカトロニ クス機器	電源・エネ ルギー機器				
売上高							
外部顧客に対する売上高	11,577,433	5,800,912	4,497,274	1,214,365	23,089,985	—	23,089,985
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	808	—	3,833,249	3,834,058	△3,834,058	—
計	11,577,433	5,801,721	4,497,274	5,047,615	26,924,044	△3,834,058	23,089,985
セグメント利益又は損失 (△)	270,241	56,768	△387,338	114,233	53,904	57,961	111,866

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話機器の販売事業およびソフトウェア開発や製造の請負事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は下記のとおりであります。

セグメント利益

(単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	134,178
その他	△76,217
合計	57,961

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産および受注の状況

① 生産実績

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	前年同期比 (%)
情報・通信機器 (千円)	11,648,287	113.1
メカトロニクス機器 (千円)	5,896,294	114.2
電源・エネルギー機器 (千円)	4,565,937	98.5
その他 (千円)	246,216	95.8
合計	22,356,735	109.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	前年同期比 (%)
情報・通信機器 (千円)	12,769,316	108.1
メカトロニクス機器 (千円)	6,347,543	130.7
電源・エネルギー機器 (千円)	4,104,360	77.0
その他 (千円)	1,214,365	107.5
合計	24,435,586	105.7

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。